

IFS.ai Logistics

製造業の ロジスティクス変革

計画から実行、コスト管理、パフォーマンス最適化までをつなぐ
ロジスティクスインテリジェンス。

IFS.ai Logistics の統合プラットフォームで、
ロジスティクスを一元管理し、輸送ネットワークを
最適化とサービスパフォーマンス向上を実現。



製造業が取り組むべき

“見えないコスト”の最適化

ロジスティクスは、製造オペレーションにおいて最も複雑でありながら、管理が行き届いていない分野の1つです。



輸送データが複数のシステムに分散している



請求書の監査が遅れている



計画が現場の実行に反映されていない



運送業者のパフォーマンスを一貫して測定できない

そのため、多くの製造業は以下について明確な見通しを持っていません。

- ・ 実質的な輸送コスト
- ・ 実際のサービスレベル
- ・ 輸送ネットワークの効率性
- ・ 運送業者のパフォーマンス

このように、ロジスティクスは輸送コストが発生した後に対応する、事後対応型のプロセスに陥りがちです。



現在のロジスティクスの課題

断片的 事後対応 高コスト

多くの製造業は、いまだに分断された業務プロセスのもとでロジスティクスが運用されています。

- ・ 計画が個別に行われている
- ・ 実行状況が可視化されていない
- ・ 監査の実施は数週間～数か月後
- ・ 最適化は手作業に依存し、一貫性もなく、実施されていないケースも多い

その結果起こること：

- ⊗ 予算超過
- ⊗ サービスレベル未達
- ⊗ 責任の所在が不明確
- ⊗ パフォーマンス改善につながるフィードバックがない

これは人の問題ではありません。
システムの問題です。

単一のプラットフォーム 単一のデータ基盤 ロジスティクスの統合管理

IFS.ai Logistics は、輸送計画から監査、実行、最適化までを単一の統合ソリューションで実現します。

分断されたロジスティクス管理を統合し、出荷計画から請求書の検証まで、エンドツーエンドで業務を可視化します。

これにより、継続的な改善サイクルを実現します。

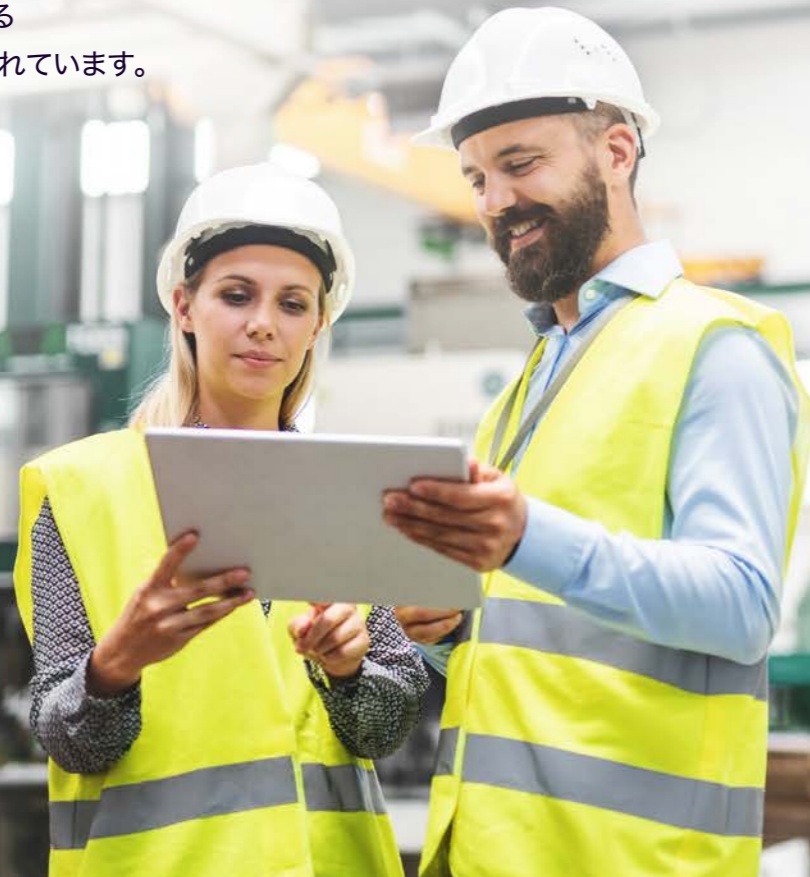
統合

監査

シミュレーション

実行

出荷・請求・運送業者とのやり取りなど、あらゆるデータをもとに学習する共通のデータ基盤により支えられています。



統合：ロジスティクスの全データを一元管理

- ・ 運送業者やフォーマットを問わず請求書を迅速に取り込み
- ・ 輸送データの標準化、統合を自動化
- ・ 既存のシステムやデータとシームレスに連携
- ・ 最小限のIT 負荷で導入可能

ロジスティクス業務における重要な情報をすべて、単一の環境に集約します。



実行：輸送計画と実行の自動化

高度な輸送管理インテリジェンスを業務に組み込み、以下を実現します。

- ・ 単一の画面で出荷の手配、追跡、管理を実施
 - ・ 配送条件や業務ルールに基づき、最適な運送業者を自動選定
 - ・ 手作業なしで出荷書類やラベルを自動生成
 - ・ 到着予定時刻(ETA) を可視化し、出荷から配送完了までを追跡
 - ・ 複数の運送業者や輸送手段にまたがる国内外の輸送を管理
- 日々のロジスティクス業務が自動化されることで、より付加価値の高い業務に集中できるようになります。



監査：正確性、コンプライアンス、可視性の確保

- ・ AI による運賃請求の検証(レートカードや契約に基づく、ロジスティクス業務に特化)
- ・ 請求ミスやコスト漏れの特定
- ・ 輸送コストとサービス管理の全工程にわたる可視化
- ・ 契約書と料金表の一元管理

製造業は、運送請求書の正確性に対する信頼を高めるとともに、取引業者に求める改善点を明確に把握できます。



シミュレーション：運用データを意思決定に活用

実際のロジスティクスデータをもとに複数のシナリオをシミュレーションし、以下の重要な課題に答えます。

- ・ 運送業者は、合意した料金とサービスを提供しているか
- ・ 輸送ネットワークを変更するとパフォーマンスにどのような影響があるか
- ・ 複数の運送業者を活用する戦略はレジリエンスの向上につながるか
- ・ 在庫切れやサービス停止を減らす方法はあるか

シミュレーションを活用することで、十分な情報に基づいた計画立案が可能となり、実行に移す前に意思決定を評価できるようになります。

製造業の導入事例

ある企業では、IFS.ai Logistics を事業戦略に組み込み、プロジェクト開始から12週間以内に本格稼働させました。

ソリューションの内容：

- ・ **コストデータの標準化**：3PLの3社から、30社以上の配送・貨物輸送業者のデータを自動統合
- ・ **請求書の自動監査**：請求書を取り込み、複雑な料金表や契約書に基づく照合・検証を自動化し、コスト回収を実現
- ・ **パフォーマンスダッシュボード**：輸送時間の遵守状況を可視化
- ・ **輸送ネットワークの最適化シミュレーション**：コスト削減および運送業者の最適な活用に向けた示唆を提供
- ・ **IT連携不要**：ITリソースやシステム連携なしで導入可能

成果

取り込んだネットワーク

- ・ **欧州の3PL**：3社
- ・ **輸送業者**：30社

これまではデータの分断や不整合（品質、粒度、PDF/CSV形式など）、データに基づく意思決定が困難でした。IFS.ai Logistics は、データの標準化、検証、監査を行い、単一のデータセットに統合することで、最適化と意思決定のための信頼性の高い基盤を構築しました。

初年度の成果

- ・ **投資利益率 (ROI)**：5倍
- ・ **業務コスト削減見込み**：11%
- ・ **継続中の監査による改善効果**：1%

導入効果のタイムライン

導入開始から3か月

- ・ 12週間でオンボーディング完了
- ・ 3社の3PLおよび30以上の輸送業者データを統合
- ・ 監査の設定および稼働開始
- ・ 初回監査により、輸送費0.5%相当の過払いを回収

半年後

- ・ 初期のネットワーク最適化シミュレーションにより、最適な業者活用で最大7%のコスト削減余地を特定
- ・ 上記に基づき、年間2%のコスト削減に向けた業務改革を実施

1年後

- ・ 追加のシミュレーションを実施し、業務プロセスの変更により、さらに1.8%の削減余地を特定
- ・ 危険物取扱戦略の見直しにより、さらに2%のコスト削減余地を特定

現在

- ・ 継続して優れた投資対効果を提供（初年度で5倍のROI）
- ・ 輸送ロジスティクス全体における、単一で標準化された単一のデータ基盤を確立
- ・ 北米および欧州への展開を検討中

「IFS.ai Logistics の導入以前は、付帯費用のレベルまで透明性を確保することはできませんでした。このような詳細な情報を把握できるようになったため、自信を持って外部パートナーを活用できています。これほどのコスト削減が可能だとは、想像もしていませんでした」

欧州担当ロジスティクスマネージャー



製造業向けのソリューション

IFS.ai Logistics は複雑な製造業向けに設計され、以下の機能をサポートしています。

- ・ 複数拠点でのオペレーション
- ・ グローバルな物流ネットワーク
- ・ 大量の貨物輸送
- ・ 需要変動への柔軟な対応
- ・ 厳格なサービスレベル要件

入荷資材、出荷完成品、拠点間の移送を管理する場合でも、大規模なオペレーション管理を実現し、以下を実現します。

原材料の調達、製品出荷、拠点間輸送において、製造業はスケールに応じた業務管理を実現します。

- ・ 実際のコストに基づく計画立案
- ・ 輸送の可視化に基づく実行
- ・ 請求書の自動監査
- ・ 輸送ネットワークの継続的な最適化

IFS.ai Logistics は、ロジスティクスを業務として統合管理し、リアルタイムの可視化、測定可能なパフォーマンス、継続的な改善を実現します。



IFS.ai Logistics で
ロジスティクスを最適化

専門家に相談

導入効果：

- ✓ 正確な輸送コストの可視化
- ✓ 運送業者のパフォーマンスの一貫した測定
- ✓ 迅速な問題解決
- ✓ 実際のデータに基づく継続的な改善

成果：

- ✓ ロジスティクスコストの削減
- ✓ サービスレベルの向上
- ✓ 輸送業務全体のさらなる可視化

導入事例

グローバル売上高10億ドル規模のジェネリック医薬品メーカー

- ・ 欧州での事業拡大に伴い、コスト効率の高いロジスティクスソリューションを模索
- ・ 運送業者を最適化しながらサービス品質を維持

最初の6か月

- ・ 欧州の陸上輸送ネットワークを整備
- ・ 監査と請求書分析により契約遵守を確保
- ・ データに基づく輸送ネットワーク分析へ移行（従来の社内レポートを代替）
- ・ 調達機会を特定し、シミュレーションを実施

継続的な運用

- ・ AIによる輸送負荷最適化とコストシミュレーション
- ・ 高度なサプライチェーン計画による需要予測と配送ルート策定
- ・ EU/英国間の陸上貨物輸送と輸出入申告の自動化
- ・ 年2回の調達シミュレーションを実施

主な成果

175万ドル

調達シミュレーションによって実現した
初年度のコスト削減額

17倍の
ROI

25%

配送ルート最適化のシミュレーションによるさらなるコスト削減

米国を拠点とする医薬品メーカー

- ・ 遅延が許されない、時間制約の厳しい配送
- ・ 航空輸送中心で、特定の運送業者に依存した輸送モデル

フェーズ1

- ・ 出荷/梱包データを標準化し、分析可能なデータ基盤を構築
- ・ 新たな製品仕様およびサービス要件を反映した包括的なRFPデータセットを作成
- ・ 複数のシナリオでシミュレーションを実施（空輸から陸送への切り替え、代替運送業者、配送条件の変更など）
- ・ システムによる運賃モデリングを用いて、標準化されたデータセットに基づき運送業者の見積もりを評価

継続的な運用

- ・ 米国内2つの物流拠点を可視化し、コストとサービスを最適化
- ・ シミュレーションを継続的に活用し、輸送手段の見直し可能な対象出荷を特定
- ・ 運送業者の選定およびサービスレベル戦略について、データに基づく意思決定を実施
- ・ 契約割引条件に基づくコストパフォーマンスの継続的モニタリング

主な成果

34%

コスト削減の
余地を特定

5倍の

ROI

15%

今後の取り組みに向けた
コスト削減目標

IFS について

IFS は、産業用 AI およびエンタープライズソフトウェアの分野で世界をリードするプロバイダーであり、製造、資産管理、サービス運用を通じて、地球を支え、守るハードコアなビジネスを支援しています。IFS のテクノロジーは、製品を製造し、複雑な資産を保守し、サービス重視の業務を管理する企業が、産業用 AI の変革力を活用し、生産性、効率性、持続可能性を向上させることを可能にします。

IFS Cloud は、AI を活用した完全にコンポーザブルなプラットフォームであり、お客様の特定の要件やビジネスの進化に柔軟に対応できるよう設計されています。ERP、EAM (企業資産管理)、SCM (サプライチェーン管理)、FSM (フィールドサービス管理) などのニーズを包括的にカバーします。IFS のテクノロジーは、AI、機械学習、リアルタイムデータ、アナリティクスを活用して、お客様が十分な情報に基づいて戦略的な意思決定を行い、「サービスの瞬間 (Moment of Service™)」を実現できるように支援します。

IFS は 1983 年に、最初のお客様の敷地の外にテントを張った 5 人の大学の友人によって設立されました。彼らは、年中無休で対応し、お客様のニーズを第一に考えていました。それ以来、IFS は 80 カ国で 7,000 人以上の従業員を抱えるグローバルリーダーに成長しました。機敏性、顧客中心主義、信頼という基本的な価値に基づいて、IFS は価値を提供し、戦略的変革を支援することで世界的に認められています。当社は、この分野で最も推奨されるサプライヤーです。その理由については、ifs.com/ja をご覧ください。

Copyright© 2025 Industrial and Financial Systems, IFS AB. IFS および IFS の製品・サービス名は IFS の商標です。無断転載を禁じます。本書には、IFS の製品および技術に関して将来発生しうる機能についての記述が含まれている場合があります。こうした記述は情報提供のみを目的としたものであり、いかなるコミットメントや表明でもありません。本書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

制作：2025 年 5 月